

今後の地域科学技術の推進について（中間的とりまとめ）
骨子案

1. 文部科学省等におけるこれまでの事業成果について

○文部科学省による地域科学技術振興施策（知的クラスター創成事業、都市エリア産学官連携促進事業など）の実施を通じ、どのような成果が得られたか。

- ・これまでの地域の主体的な構想に対する、研究開発支援の意義は何か
- ・産学官連携、拠点形成など地域イノベーションの基盤作りに貢献してきたか など

○科学技術振興機構（JST）による地域科学技術振興施策（イノベーションプラザ、サテライト等を通じた地域の産学官連携の推進及び育成研究の実施など）の実施を通じ、どのような成果が得られたか。

- ・産学官連携、拠点形成など地域イノベーションシステムの構築に向けた基盤作りに貢献してきたか など

2. 文部科学省に期待される役割について

○現在実施するソフト・ヒューマンの視点からのイノベーションシステム構築支援の意義は何か。

○地域イノベーションシステム構築に向け、今後国が果たすべき役割は何か。

○地域の主体性に基づく地域科学技術振興施策を通じた、我が国全体の科学技術の高度化・多様化戦略の必要性について。

3. 産学官金連携の意義について

○産学官金連携において果たすべき、各主体の役割は何か。

- ・大学、産業界、金融機関、政府・自治体の役割 など

○産学官金連携における、プロジェクトディレクター、コーディネーターの役割は何か。

○今後各主体が果たすべき役割や更なる連携強化策は何か。

4. 広域連携・国際連携のあり方について

○広域連携・国際連携の意義とは何か。

○広域連携・国際連携のため、必要な取組は何か。

- ・海外クラスター・市場等の調査
- ・海外法規・規制の整理
- ・両国の大学連携をハブとした取組 など

5. 人材育成・確保のあり方について

○地域におけるイノベーション人材の確保・育成をどのように行うべきか。

- ・今後、地域イノベーション創出のために必要な人材とは何か など

6. 新たなイノベーションシステム構築について

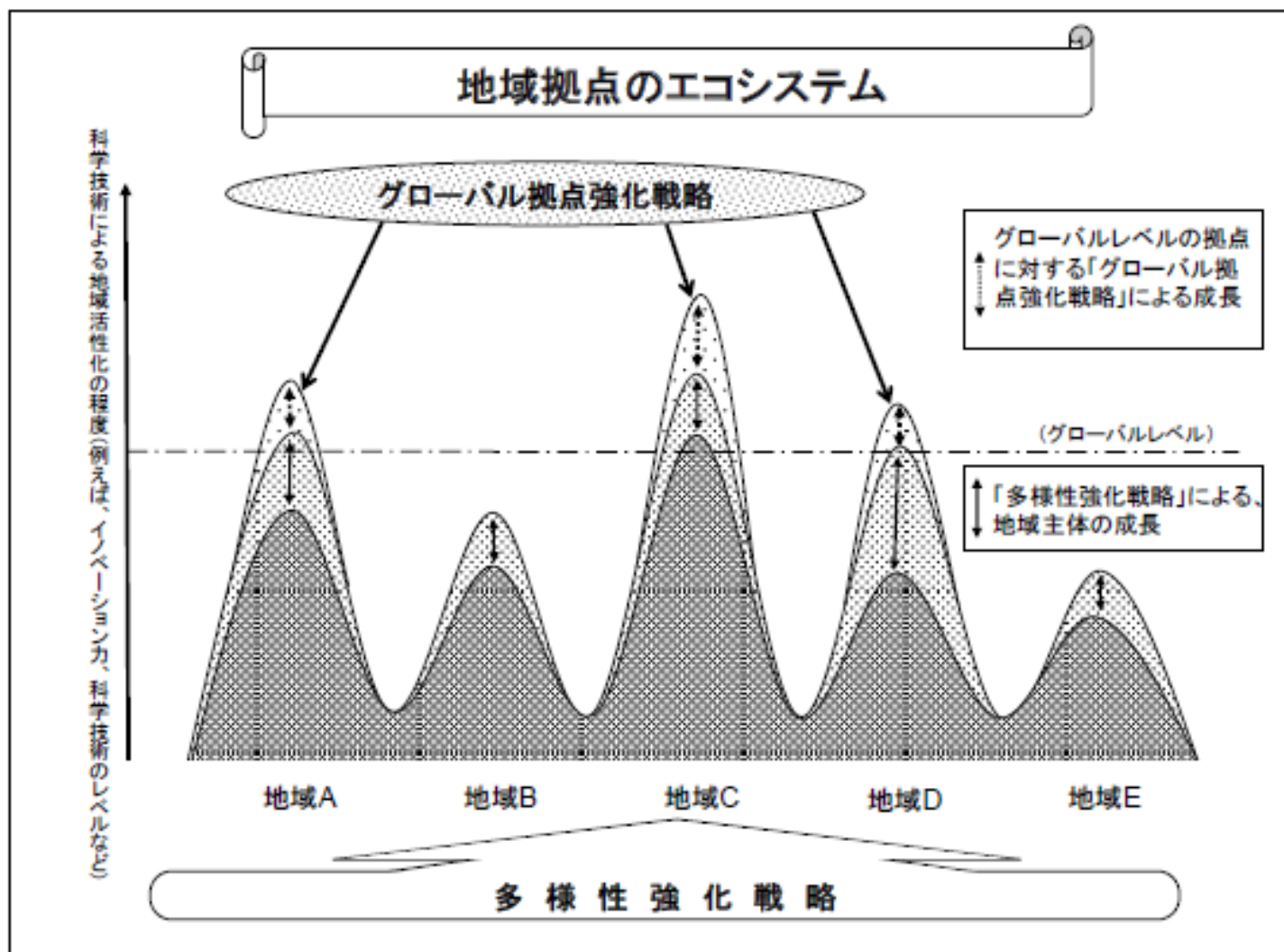
○地域における成果の社会実装、海外市場の獲得を進めるために必要なことは何か。

○地域科学技術振興の観点から、各地域の多様化を進めるとともに、国の課題を解決するため、各地域の取組を戦略的に国が支援する必要はないか。

○これまで各地域に蓄積されている成果をより大規模な市場創出/獲得につながるよう、集約化して、早期の社会実装を目指すべきではないか。

○効果的なプロジェクトマネジメントのありかたについて。

(参考)



出典：科学技術による地域活性化戦略（平成 20 年 5 月 19 日 総合科学技術会議）